

ソニーグループがソニーFGの再上場を検討ーソニー銀行の格付に影響なし

以下は、ソニーグループ株式会社が、ソニーフィナンシャルグループ株式会社の株式上場を前提にしたパーシャル・スピノフの検討を開始したと発表したことに対する、ソニー銀行株式会社についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) ソニーグループは5月18日、完全子会社であるソニーフィナンシャルグループ（SFGI）の株式上場を前提にしたパーシャル・スピノフの検討を開始したと発表した。SFGIが手掛ける金融事業のさらなる成長の実現を企図している。社名を含むソニーブランドの活用とグループ各社とのシナジー創出を継続できるよう、スピノフの実行後もグループは20%弱の株式を保有する前提で検討している。なお、スピノフの実行予定時期は未定だが2~3年後を念頭に置いている。
- (2) 当行は、ソニー生命保険、ソニー損害保険などとソニーフィナンシャルグループ（SFG）を形成するインターネット専門銀行である。SFGIの完全子会社である当行の格付には、SFGとの経営の一体性に加え、当行の戦略的・機能的な重要度の高さなどを反映している。金融事業は健全性規制の対象であること、金融事業の円滑な運営には高い信用力の維持が非常に重要であることなどから、SFGはソニーグループの非金融部門から一定の独立性を確保し続けるとJCRはみてきた。スピノフの実行後もソニーブランドが活用されるなど、SFGの事業基盤への影響は限定的と考えられる。スピノフ実行に向けた進捗およびSFGの成長に向けた取り組みを見守っていく。

(担当) 大石 剛・清水 達也

【参考】

発行体：ソニー銀行株式会社

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル